

# 令和3年度 全国学力・学習状況調査結果について

令和3年8月31日、文部科学省は、本年度の全国学力・学習状況調査の結果を公表しました。この調査は、全国の小学6年生と中学3年生を対象に、学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証するとともに、学校における教育指導の充実や学習状況の改善に役立てることを目的に実施されています。調査の内容は、教科に関する調査（国語・算数・数学）と生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査の二つです。本町の小中学校の結果は、全国平均と比較すると以下のとおりとなりました。

【 平均正答率の全国との比較 】

学校／教科	国 語	算数・数学
和寒小学校	上回っている	下回っている
和寒中学校	ほ ぼ 同 値	上回っている

## 【 国 語 】

小学校では、「思考・判断・表現」の「読むこと」に関する正答率が全国平均を上回っており、「話すこと・聞くこと」は少し下回っています。中学校では、「話すこと・聞くこと」と「書くこと」に関する正答率が全国平均より高く、「言語についての知識・理解・技能」の正答率がやや低い傾向にあります。



## 【 算数・数学 】

小学校では、「変化と関係」の領域は全国平均を上回っていますが、「図形」の領域は下回りました。中学校は、どの領域も全国の正答率を上回っているか同程度の結果でした。特に「資料の活用」の領域と「数量や図形についての知識・理解」の観点で全国平均を上回っています。



## 【 児童・生徒質問紙 】

全国と比較して小学校・中学校ともに肯定的な意見が多かった項目としては、「今住んでいる地域の行事に参加していますか」、「あなたは学校で、コンピュータなどのICT機器を、他の友達と意見を交換したり、調べたりするために、どの程度使用していますか」などの設問があげられます。

また、全国と比較して、小学校・中学校ともに否定的な意見が多かった項目としては、「普段、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか」、「学校の授業時間以外に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか」、「学習塾の先生や家庭教師の先生に教わっていますか」、「学校の授業時間以外に、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか」、「新型コロナの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、規則正しい生活を送っていましたか」などがありました。

この調査を受け、各学校ではさらに分析を行い、授業や学習習慣の改善等の学力向上へ向けた取組を進めていくこととしています。また、一日当たりの学習時間や読書の時間などについても、学校と家庭が連携して児童生徒の生活習慣を見直し、改善へ向けた取組を進めていきます。